

# 令和元年度 第2回桑名市地域公共交通会議 議事要旨

日 時：令和元年10月28日（月）10:00～11:30

開催場所：桑名市役所 5階 中会議室

出席者：委員18名

傍聴者：3名

## 1. 前回のふりかえり

### ①前回のふりかえり【資料1】

#### (委員からの主な意見・質疑応答)

- ・バス停の廃止基準を策定するというのは、これから基準を策定し周知するのか。  
⇒本日の会議で提案させていただく。

## 2. 協議事項

### ①コミュニティバスの路線の見直しについて【資料2】

→承認

### ②コミュニティバスの乗継券の発行について【資料3】

→承認

#### (委員からの主な意見・質疑応答)

- ・前回の会議内容を受け、多度地区市民センター（多度町総合支所バス停）から桑名市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート、また、長島地区市民センター（福祉健康センターバス停）から桑名市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート、また、長島地区伊曾島（伊曾島バス停）から城南地区の立田町・太平町を通り桑名市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート、以上の3ルートについて、今後、交通事業者との協議により時刻、バス停等に若干の変更する可能性はあるかもしれないが、年度内に運行開始ができるよう、本日審議、議決していきたい。
- ・多度ルートに関連して、別紙①ー2に今回の連絡時分が記載してあるが、終点や起点になる多度町総合支所バス停、下野代駅北バス停に関しては表記すべきだと思うが、20～30分近く待つ個々のバス停（御衣野東バス停等）は近くにトイレもないと思うので、連絡時分の表記は必要がないと思われる。また、養老鉄道多度駅との連

絡時分が記載されているので、併せて、下野代駅との連絡時分を記載した方が良いのではないかと。市民に周知するときに気を付けてほしい。

- ・南部東ルートに関連して、長島地区から桑名地区への乗り入れは、国道一号線を活用した福祉健康センターへのルートが通ることになることから、南部東ルートは、1ルートの時間も考慮すると、伊曾島方面ではなく、城南地区の福地、福岡町方面へ行けるよう今後、検討していただけるとありがたい。また、立田町、太平町は今後、フリー区間の検討も行っていただきたい。提案された3ルートについて、第一段階として、まずはやってみるということで承認する。そのうえで、前述の意見は、今後の検討課題としてとらえていただきたい。

- ・現行北部ルートが国道258号線を通っているため、今島交差点を北上して、多度町を周回し、多度地区市民センターへ乗入れた方が良いと思うが、そのようなことを検討したのか。

⇒国道258号線と養老鉄道が並行していることから、市としては養老鉄道の利用も同時に考慮しながらルートを検討した。

- ・例えば、Aさんは多度から何時に乗って、何時に桑名市総合医療センターへ到着する、また、帰りも同様に何時に乗ったら、何時に多度へ帰れるかといったモデルケースを作ってほしい。そのようなものがあれば、住民もすごく喜んでもらえると思う。

⇒今回の路線の見直しによって、コミュニティバスから養老鉄道に乗り換えて桑名へ移動したり、コミュニティバスの多度ルートと北部ルートを乗り継いで桑名へ移動したりと様々な選択肢ができるようになるため、利便性の観点からMy時刻表のようなものを作成していきたい。

- ・新ルート案で、フリー区間を設定することができないか。ルート上で、手を挙げて乗り降りしたいが、そのようなことはできないのか。

⇒運行の安全上フリー区間の設定は難しい。多度地区、長島地区で一部フリー区間が設定されているが、フリー区間を設定すると、他の地域からも要望が出てしまい、道路や運行の安全上で多くの問題が発生してしまう恐れがある。

⇒フリー区間を設置して、自分の家の前で乗降できれば便利であるが、事故に繋がる可能性があるため、バス停の設置の要望を出されたらどうか。

- ・新ルートでの運行に関する周知について、コミュニティバスに乗る方は高齢者が多

- いことから、ホームページを見ない、見るできない方が多いと考えられるため、周知の方法を検討していただきたい。
- ⇒新しい時刻表を作成するため、自治会を通して周知していきたい。
- ・現行多度ルートと養老鉄道の乗り換え時間に余裕がないダイヤとなっているため、切符を買う時間や、ホームを渡る時間等を考慮した乗り換え時間を検討してほしい。
- ⇒平成 29 年度に養老鉄道との接続を改良したが、現状運行に余裕のないダイヤになっていたり、高齢者の乗り降りの時間が考慮されていないと思われるため、今後養老鉄道との接続やダイヤ改正を交通事業者と検討していきたい。
- ・以前から要望しているが、長島ルートの利用者を増やすためには、1日4便しかないため、乗れない、乗ったとしても帰ってこれられないことから、本数の増便ができるような対策をしてほしい。現行一台で長島の南北を走行しているが、二台走らせ、南と北でそれぞれ運行し、1日8便程度にしてもらえると、今は利用できない通勤・通学の方でも利用ができる。高齢者の免許返納者への優遇策がなく、コミュニティバスが少ないことから、免許返納することができない。
- ⇒今回の路線の見直しにおいて、運行費用も上がると予想されることから、今回の路線の見直しの中では、増便は難しい状況であるが、今後コミュニティバス全体の地域の利用状況を見ながら、バス台数を増やさずに便数を増やすことができるか検討していきたい。
- ⇒バス、タクシー、鉄道との連絡を考えたり、福祉有償運送を検討したり、地域で輸送の体制を作ってみることで、免許返納する方も増えると思う。時間はかかるが、今後この会議の中で議論していくことが必要である。
- ・東部ルートから長島地区市民センターへ乗入れる案は、国道1号線の「なばなの里」の渋滞を考慮しているのか。夕方以降の時間だけでなく、日中も渋滞している状況であるが、ダイヤ設定に問題はないか。
- ⇒今後バスで実走し、時間区分を設定していきたい。
- ・南部ルートについては、新設バス停が14箇所設置されることから、時間区分やバス停位置を今後交通事業者と精査していただきたい。
  - ・南部ルートのルートやバス停の設定は、地元と調整されているのか。
- ⇒素案を交通事業者と設定し、地元自治会と協議し、バス停の近隣住民は9割程度説明済みである。

- ・多度ルートの循環A・Bで、四日市市が試験運行しているデマンドタクシーを運行してほしい。

⇒デマンドタクシーであれば、市の支出も減り、利用者も行動したい時に利用でき使  
いやすくなると思うが、車両や運転士の確保も難しく、事業者としてその体制や環  
境作りが困難な状況である。

⇒安易に自家用運送の考えではなく、安全面からもプロのドライバーにまずは任せる  
べきで、第一にバスやタクシーを検討していくべきである。

- ・前回の会議内容を受け、多度地区市民センター（多度町総合支所バス停）から桑名  
市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート、また、長島地区市民センター（福祉  
健康センターバス停）から桑名市役所本庁など桑名地区に乗り入れるルート、また、  
長島地区伊曾島（伊曾島バス停）から城南地区の立田町・太平町を通り桑名市役所  
本庁など桑名地区に乗り入れるルート、以上の3ルートについて、今後交通事業者  
との精査、協議により時刻、バス停等に若干の変更はあるかもしれないが、異議が  
ないようなので承認とする。年度内に運行開始ができるよう、交通事業者とともに、  
諸手続きを進めていただきたい。
- ・乗継券について、公共交通を維持するために、100円という安い利用料金設定で良い  
かという議論が、今後必要ではないかと考える。今回、乗継ぎできる路線の見直し  
をしていることから、良い試みであると思われる。
- ・乗降調査や安全確認もある中で、乗継券を発行することで、運転士の作業はどのよ  
うなものが増えるのか。  
⇒乗継券は、ルート毎に違う色紙を使用し、一目で違うルートから乗り継いできたこ  
とがわかるようにする。運転士には、日付けのスタンプを押印していただきたい。
- ・乗継券について、異議がないことから承認とする。

### 3. その他

- ①バス停の最低利用基準の策定について【資料3】
- ②高齢者の免許返納者への対応方法について【資料4】
- ③その他

(委員からの主な意見・質疑応答)

- 提案された基準で、今現在該当するバス停はどれくらいあるのか。  
⇒昨年度の実績で、東部ルートは1箇所、多度ルートは10箇所、北部ルート1箇所、西部北ルートは1箇所該当する。
- 最低利用基準の計算方法は、既得権益について、今後検討する必要があると思われる。  
⇒乗車と降車の合計を52週で割り返す。例えば、年間乗車10人、降車10人であれば、20人/52週となり、1人を超えないため、基準を満たさないこととなる。週で考えるのは、1週間をライフサイクルと捉えている。
- 基準に該当したとしても、すぐに廃止するというわけではなく、例えばコミュニティバスではなくデマンドタクシーで置き換えてみるといった議論の内容にしていくという考えで、今後この基準を目途にして設定する。
- 高齢者の免許返納者への特典が、コミュニティバスの回数券が増えるというだけでは、誰も返納しない。バスでは、行きたいところに行きたい時間に行けないので、タクシー助成券が良いのではないか。
- 例えば、コミュニティバスの市負担分の半分の金額を、タクシー助成券に置き換えてみたらどうかと考える。
- タクシー会社が自社努力で割引いたり、市が福祉事業として助成するという検討が必要である。
- 高齢者の免許返納者への対応方法は、引き続きこの会議で議論していきたい。
- 総合運動公園前バス停と陽だまりの丘中バス停の付近に、病院や歯医者等が開院しており、近くにバス停を設置してほしいとの意見を聞いたので、情報提供する。